

コロナ禍を経た ホームステイ受入れに ついて

2022年10月13日
T FAMILY

2022@T FAMILY

T FAMILY これまでのホームステイ受入れと感想

- ・ 27年前、名古屋で社宅（一般アパート3LDK）住まい時、インド人の技術研修生の1泊2日が初受入。当時の子供達は、長男は小学校低学年、長女は幼稚園児、次男は3歳。
⇒ 次男が「一緒にお風呂に入ろう！」「OK」 後々、「〇〇さんの△△国」と見る事が出来る意識のベースとなった。
- ・ 以降も、1泊2日の受入や外国人との交流イベントへの参加、休暇期間を使って1週間以上の受入や私達家族が外国でのホームステイ経験などを通じ、衣食住や言語・文化・習慣等、お互いの違いを理解し、どのように適応したらいいかを体得するベースができた。
- ・ 20年前から熊谷在住でゲストの部屋をあてがうことも可能となり、特に、15年前から8年前までKAZUHIRO単身韓国駐在時は、高校生や社会人の長期（半年・1年間）の受入や短期（1日・2日）も含め国際色豊かな交友関係が生まれた。
- ・ 埼玉県国際交流協会を通じ多くの留学生達と交流を持ちましたが、様々な出来事がゲストとの間で起こりました。
⇒ ① 待ち合わせ時刻に姿を現せないカナダの男子大学生
② オンラインホームステイにまさかのドタキャン(モンゴルの女子大学生)
③ 時差が激しいドイツの女子大学生とのオンラインホームステイ
④ オンラインホームステイ後、今でもLINEのやり取りが続くインドネシアの女子大学生

2022@T FAMILY

T FAMILY これまでのホームスティ受入れと感想

- ・ 殆どのゲストは「日本人の暮らしを知りたい」そこで、家族紹介のPPTを作成しています。
⇒ 家族の写真と日本の伝統等（還暦祝い）を加え、住んでいる場所（地図・東北、高崎線）の特徴（日本一暑い街）や四季の自然（桜堤と菜の花、夏祭り（うちわ祭）、花火大会、稲穂の田んぼ、庭の積雪）、日本家屋の特徴（リビング、ダイニング、和室、畳、床柱、神棚、床の間、太陽光発電・エネファーム発電等のSDG's、等）
- ・ こうしたお話を通じて、ゲストの興味のある事を掘り下げ、現物を見せながら解説などしていく。
⇒ 日本絵とき事典（A LOOK INTO JAPAN）、日本絵とき事典 2（LIVING JAPANESE STYLE）などを参考。
- ・ ゲストの食欲を満たす事については、ホームスティの印象を左右する大きな要素となります。「食文化」は日本を知ることにも繋がり、ゲストの国の料理を知る事にも繋がっていきます。
⇒ ゲストの興味や疑問への対応と食事の楽しさの共有がお互いの理解促進に繋がる。

2022@T FAMILY

コロナ禍の様々な交流・スティ

オンラインホームスティ（東京2020）

オーストラリア柔道選手 21年7月26日



ホームビジット（埼大留学生）22年7月3日

東秩父 ふれあい牧場



2022@T FAMILY

4

コロナ禍の様々な交流・スティ

ホームビジット（日本語教師 フィリピンから）



22年8月21日 忍城、田んぼアート



2022@T FAMILY

5

これからの受入は？

- これまでのホームスティ受け入れと変わる点は、コロナが終息したわけではないので、基本的な感染対策は守る。ワクチン接種、会話時マスク着用等
- 特に、食事時には、換気、シールド設置、を施し、飲酒は適度に、大声は出さない。
- これまでと変わらない点は、ゲストの外国人の要望を事前に把握し、感染予防の観点を踏まえ、可能な限り要望に沿った対応により楽しい交流を図る。
- ホスト、ゲスト、お互いにとり刺激や気づき、の場として高め合っていきたいと考えている。



2022@T FAMILY

ご清聴ありがとうございました

2022@T FAMILY